

●七夕会 (令和2年7月9日)

七夕会を開催し、16名の方が参加されました。

患者さんの思いがこもった短冊が飾られた中で、体操やミニゲームを行いました。大変有意義な笑顔ある時間となりました。



●第62回QCサークル活動発表会 (令和2年5月29日)

QCサークル活動は患者さんの満足度向上や業務効率改善を目的に行っており、3チームが発表しました。

最優秀賞

クリップチーム(総務課)

テーマ

パソコンフォルダ内の印刷物を検索しやすくする



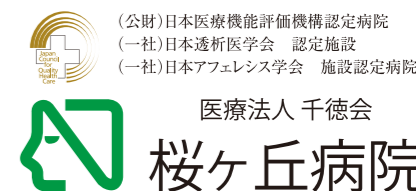
●新入職員紹介

さわたに まき
澤谷 真希
薬局 薬局助手
(入職日 令和2年6月16日)



初めての業種で慣れない日々ですが、支えていただきながら業務に励んでいます。一日でも早く薬局助手として信頼していただけるよう頑張りたいと思います。

さくら通信



第44号
2020.8

特殊疾患病棟について

当院は県下唯一の特殊疾患病棟(49床)を有しています。長期に渡り療養が必要な脊髄損傷などの重度の肢体不自由者、重度の意識障害者、筋ジストロフィーなど神経難病の方々が入院対象になります。

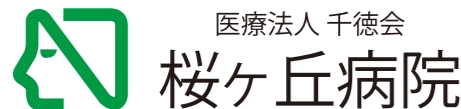
当病棟では、パーキンソン病患者の占める割合が多く、自宅での生活が不自由になった方や重症意識障害等で呼吸器管理を必要とする方などに対し専門性を意識した看護ケアの充実や、リハビリテーションと連携したADL支援、介護スタッフによるケアの充実、季節に応じたレクリエーション等の実施を通じて少しでも快適で安心した入院生活を送っていただけるよう取り組んでいます。最近では歯科衛生士の指導を受け、スタッフの口腔ケア技術向上に努めています。また、食事摂取が困難な方には言語聴覚士による嚥下機能評価や管理栄養士による栄養状態の評価も積極的に行っており、スタッフ一丸となって最後まで食べることを諦めずに取り組んでいます。

長期に渡り入院している方に対して、安心・安全な環境が提供できるよう、多職種と連携を取りながら、患者さんの立場に寄り添った医療の提供を目指しています。

入院相談やご不明な点がございましたら、地域連携室までお気軽にご連絡ください。



◎お問い合わせ先：地域連携室 崎山・川嶋
TEL 0737(83)0829



医療法人 千徳会

桜ヶ丘病院

院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp
●地域連携室 TEL 0737(83)0829

診療科目等

- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
- 腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
- 婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
- 一般病床:49床(特殊疾患病棟入院科1)
- 医療療養病床:50床(療養病棟入院基本料1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名)《夜間透析実施中》

医療法人千徳会

- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり(相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
3. 創造性(常にチャレンジ)
4. 合理性(道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽(常に学習を)

経営理念

「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」
「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

社会福祉法人守叅会

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911 電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

腹膜透析について

おだ みのる
腎センター長 小田 稔



慢性腎臓病が、末期腎不全まで進行した段階では、腎代替療法の選択が必要となります。この、腎代替療法には、腎臓移植・血液透析・腹膜透析があります。今回は、このうち、腹膜透析についてお話ししたいと思います。

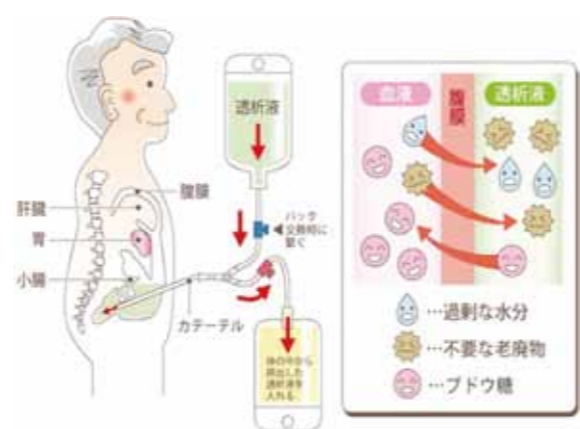
腹膜透析では、腹腔内に直接透析液を注入し、一定時間貯留しているあいだに腹膜を介して血中の尿毒素、水分や塩分を透析液に移動させます。十分に移動した時点で透析液を体外に取り出すことにより血液浄化が行われます。透析液は外気に触れることはなく、通常は自然の落差を利用して透析液の交換を行います。

基本的に、1日4回の透析液の入れ替えが必要です。患者さんの腎機能が残っていれば、腎機能の不足分だけを腹膜透析で代替することで、必要な透析量を少なくでき、夜間に機械で透析液の入れ替えを自動的に行う方法などを利用し、昼間は自由に活動できるような治療法が選択できる場合もあります。腹膜透析液の入れ替えなどは、手動で行うことが基本ですが、治療デバイスの進歩もあり、高齢者や視力障害者、手の運動障害者など手動での行うことが困難な患者さんには、機械を利用して透析液の入れ替えを行う方法もあり、以前に比べ選択可能な患者さんが増えています。

腹膜透析では、血液透析とは違い、頻回の通院を必要とするものではなく、月に1~2回の通院で対応可能であることや、治療時間がある程度患者さんが選択できるなど、社会活動を行いやすいことが大きなメリットであると考えられます。

腎代替療法の選択の際に、腎臓移植や腹膜透析を選択肢として正しく理解していただくことで、患者さんのライフスタイルや体調に合わせた治療法を選択していただければと考えております。

慢性腎臓病が進行し、将来的に腎代替療法が必要となってしまう場合には、一度ご紹介いただければ、腎代替療法の選択について、詳しく説明させていただくなど、よりよい治療選択のお手伝いをさせていただけると思います。



●第44回桜ヶ丘病院研究発表会 (令和2年4月11日)

今回は感染対策を考慮し規模を縮小した研究発表会を開催しました。各部門・委員会から8演題の発表があり優秀賞に3演題が選ばれました。

優秀賞

- リハビリテーション科 理学療法士 宮本晶太
「在宅での自主トレーニング定着化への取り組み」
- 腎センター 看護師 土岐喜昭
「透析患者の食生活改善の試み
～栄養管理ノートを利用して～」
- 外来 看護師 川嶋由美
「胃カメラにおける前処置説明方法の改善を試みて」



医師紹介

消化器内科

もりした ありさ
森下 有紗 医師



平成30年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成30年4月 和歌山県立医科大学付属病院初期研修
令和 2年4月 和歌山県立医科大学 第二内科 学内助教

早期に見つけ、早期に治療介入することが重要であると日々感じております。当院医療スタッフと協力し、有田市をはじめとした、和歌山県の皆さまにより良い医療をお届けできるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科

かわぐち たかし
川口 敬士 医師



平成26年 3月 和歌山県立医科大学 医学部医学科 卒業
平成26年 4月 和歌山県立医科大学 卒後研修センター 研修医
平成28年 4月 和歌山県立医科大学 法医学講座 学内助教
平成29年 4月 有田市立病院 内科
平成31年 4月 和歌山県立医科大学 第二内科 学内助教

令和2年4月より、火曜日午前に内視鏡・腹部エコー検査を担当しております。私は生まれも育ちも和歌山県であり、和歌山県立医科大学に入学した時より、自分を育ててくれた和歌山県に医療の面で少しでも貢献したいと思い、研鑽を積んで参りました。

食の欧米化などから、日本において消化器がんの数は増加傾向にあります。その中で、健診や人間ドック等における内視鏡検査やエコー検査により、がんを

令和2年4月より木曜日の検査担当医として内視鏡・腹部エコー検査を担当させていただいております。地域の皆様とは主に検診を通してかかわらせていただく機会が多いと思います。

胃がんや肝臓がんは早期に発見できれば治療の選択肢も増え根治率や5年生存率も上がります。和歌山県は全国平均と比較しても胃がん検診の受診率は高く、早期発見に積極的な地域ではありますが、やはり進行してから発見されるケースは

まだまだあります。機会を見つけてがん検診を受けていただきたいと思います。

今回有田地域での医療に参画できる機会をいただき大変うれしく思っております。よろしくお願いいたします。

●防災訓練 (令和2年6月30日)

有田市消防隊員の指導の下、夜間に火災が発生した想定で消火避難訓練を行い、消火器や消火ホースの使い方・避難経路の再確認を行いました。災害はいつ発生するかわかりませんが、いざという時に適切な行動ができるように、参加者は各々真剣に取り組みました。

様々な状況を想定した訓練を続け、スタッフ全員の防災意識を高めていきたいと思っております。

